



# たかみ

北九州市立高見中学校 学校通信  
 平成30年10月30日 特集号  
 発行責任者 校長 赤瀬 正信  
 学校所在地 八幡東区高見四丁目4番1号  
 TEL 093-651-1886 FAX 093-651-1899

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学、理科)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

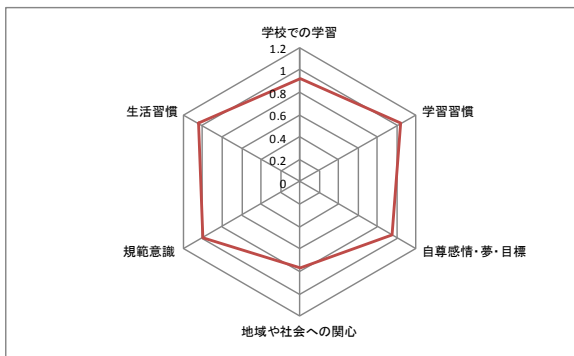
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析(傾向や特徴)   | 全国平均正答率との比較 |
|-------|--|-------------|
| 国語A   | ・全国平均正答率を下回っており、特に無答率においては、目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。                             | 下回っている      |
| 国語B   | ・全国平均正答率を下回っており、無答率はすべての問題で全国平均より高い。話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する内容や、相手に的確に伝わるように、あらすじを考えて書くことに課題がある。 | 下回っている      |
| 数学A   | ・全国平均正答率を下回っており、図形や関数の領域に関する基本的事項の理解を問う問題に課題が見られる。   | 下回っている      |
| 数学B   | ・数と式の領域では、全国平均を上回っているものの、関数や資料の活用の領域が全国平均を下回っており、また、無答率も全国平均より高くなっている。                         | 下回っている      |
| 理科    | ・全国平均正答率を下回っており、「知識」「活用」に関する問題、第1分野・2分野いずれにおいても課題が見られる。  | 下回っている      |

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



#### 質問紙調査の結果分析

- ・自分で計画を立てて勉強をしている生徒、家で学校の授業の予習・復習をしている生徒は全国平均と比べて低く、学習習慣に課題が見られる。
- ・将来の夢や希望をもっている生徒は全国平均と比べて低く、それぞれの夢を実現させるために具体的な目標設定を行い、行動に結びつけることができるようなキャリア教育の推進が必要である。
- ・本校では、各教科の授業の中で、本時の「めあて」を板書で示す等、「ねらい」を明確にする導入段階づくり、「振り返り」と「まとめ」で生徒に学習内容を理解させる授業を終末段階でしっかりと取り組んでおり、今後とも「わかる授業」づくりに取り組んでいく。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・自分の考えを言葉や文章で表現することや感想文や説明文を書くことが苦手だと感じている生徒が多い。自分の考えをまとめて述べる活動、相手の意見を聞く活動(資料やデータ等を基に説明する話し合い活動など)を積極的に授業に取り入れていく。また、タブレットPCや電子黒板等のICT機器を活用した授業を実践し、生徒の学力向上の一助とする。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習の時間を確保するために、課題(宿題)の内容や量について各教科で共通理解を図るとともに、生活ノートを活用した家庭学習の方法について、担任が点検・指導を行う。全国学力・学習状況調査の結果、明らかになった課題や取組等を保護者へ周知し、学校と家庭・小中学校が連携・協力して学力向上と進路の実現に向けて取り組めるようにする。